



工学部  
原子力安全工学科  
2年・学生指揮者  
松井隆祥君

工学部 機械工学科  
3年・部員  
城生 武君

### 合唱の楽しさ、感動を求めて 日々練習に取り組む

都市大唯一の合唱団として、学位授与式や入学式といった式典でその歌声を披露しているグリークラブ。中でもクラブにとって最大のイベントと言えるのが、毎年12月初旬に開催される星薬科大学との合同定期演奏会です。昨年もそれに向けて週3回の練習を行っていたところ、台風第19号により練習に使っていた1号館地下の防音教室と楽器庫が浸水被害を受けてしまいました。

「楽器庫にあったキーボード5台、そして、ここ10年に渡って歌い継がれてきた楽譜や今まさに練習中の楽譜まで、全てが水没。中には、今は絶版になってしまっている『グリークラブアルバム2』という貴重な楽譜もありました」(松井君)。「部員たちも結構気合いが入っていて、質の高い練習を意識していた時期でした。ちょうど15周年記念の節目にあたる演奏会でしたので、本番当日までに、自分たちが理想とする形にまで仕上げることができるかどうか、心配でした」(城生君)。



2019年12月、定期演奏会のリハーサル時の写真。一番右にいる方はグリークラブを40年間指導してくださっている先生です。

困難な時こそ気持ちを切り替えて前を向く！

# 苦しい時こそ 成長のチャンス

## グリークラブ



2019年7月新宿文化センターにて、1年生達が初めて大きな舞台上で歌った「東京都合唱祭」での写真。

合同演奏会は無事に開催されましたが、楽器を交えての音楽活動は、音漏れに対する近隣住民への配慮が必要のため、練習施設を探すのに苦労が多かったようです。「発声練習はもちろん、各パート音の確認やハーモニーをチェックするために、練習ではピアノやキーボードも使います。近隣に民家のある施設では、周囲への音漏れなど、練習を制限されることも多く、音を出せて駅から近い施設を探すのには苦労しました」(松井君)。「今、等々力キャンパスの音楽室を中心に練習を続けています。以前と変わらぬ活動ができるまでまだまだ時間はかかりそうですが、美しいハーモニーを奏するために培ったチームワークで、何とかこの状況を乗り切りたいと考えています」(城生君)。



2019年12月に開催した定期演奏会にて、歌声とハーモニーを通じて、気心知れた星薬科大学コーラス部の皆さんとの記念写真。

2020年末の第16回定期演奏会は12/26(土)、『江戸川区総合文化センター小ホール』にて開催が決定しました！